

新犬種 ショーティ・ブルの人工授精

米国でブルドッグとフレンチブルドッグの良い点を採った犬種としてショーティ・ブル (Shorty Bull) が作出途上にある。AKCでも、まだ認定されていない犬種のようなのである。

体型は、フレンチブルドッグの血がブルドッグを上回っているように見える。Bio Plusに来院したのは、雌犬(2頭)であるが、2頭ともに性格が良く、とにかくかわいい！

国内でショーティ・ブルを米国から輸入して飼育している方は、現在ただ1人である。この方から、米国から輸入した凍結精液(錠剤)による人工授精を依頼され、1匹ではあるが、産子を得たので紹介します。

雌犬は「シャンティ, 14kg」で2010年11月25日生まれの4歳である。

2014年9月20日に発情出血が確認され、

血中黄体ホルモン値は、9月30日 2.22ng/ml

10月2日 4.04ng/ml(排卵日)

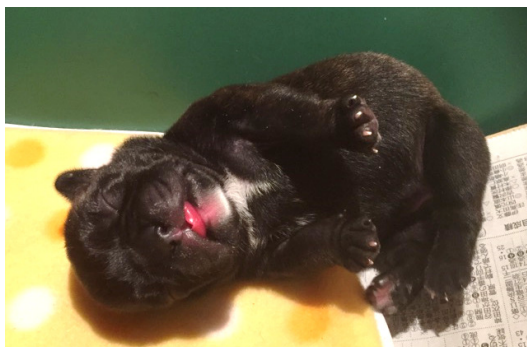
10月5日 63.19ng/ml 人工授精

12月4日 帝王切開によって1匹出産(♀)



♂

♀ シャンティ



子犬



Bio Plus